

【授業改善テーマ】

追求したくなる「課題」の設定と「対話的な学びの場を取り入れた授業」の工夫



【授業改善の重点】

- 1 「課題・まとめ・振り返り」を明確化した授業展開。
- 2 「生徒指導の3機能」を意識した問題解決的授業の展開。
- 3 生徒同士が互いの考えを交流し合う小グループ形態活動等の場の設定。
- 4 「まとめ」のなかで授業の「キーワード」を明確にする。



【取組内容】

- 1 生徒が追求したくなる「課題」の設定。
 - ・学習の過程やゴールがイメージできる「めあて・課題」の設定。
 - ・授業の「まとめ」に本時の「キーワード」を明確に示す
- 2 「生徒指導の3機能」を生かす支援活動を盛り込んだ展開の工夫。
 - ・自己存在感を与えるための工夫（名前プレートの掲示）
 - ・共感的人間関係を結び、協同の学びを生み出す場の設定の工夫（小G）
 - ・自己決定の場を与えるための工夫（一人学びの場）
- 3 小グループで活発に意見交換ができる場面の設定。



【取組指標】

- 1 単元毎に「生徒による授業評価」を実施し、また、授業の「めあて・課題」を教師個々が毎時間記録したものを毎週自己チェックし、月1回開催する教科部会で検証し、研究主任の指導・助言を受け、次の授業改善に反映させる。
- 2 単元内に小グループ活動を計画的に必ず設定して各教科研究を推進する。
- 3 各学年で創意工夫して、毎月第1水曜日実施の Thinking-Time（年間10回）で仲間との積極的な意見交換を推進する。



【検証指標】

- ◎ 毎学期末生徒意識調査における回答割合
- 1 「授業が分かる」と回答する生徒の割合を90%以上にする。
 - 2 「小グループ活動で、自分の考えを出す・意見交流する・深める・広げることができてきた」と回答する生徒の割合を80%以上にする。
 - 3 Thinking-Timeにおいて「仲間と積極的に意見交換できている」と回答する生徒の割合を90%以上にする。

